



2017年12月20日

報道関係者各位

学校法人甲南学園

プレスリリース (2017.12.20)

本日、下記にかかるプレスリリースを別添資料のとおり配信いたしますので、ご査収いただき取材についてご検討くださるようお願い申し上げます。

記

- 「甲南大学リサーチフェスター研究課題を探す、話す、磨くー」開催のお知らせ
- 知能情報学部における研究成果について「～大学生の3割が発話のしにくさを感じている～」

《本プレスリリース全体に関するお問い合わせ先》

甲南学園広報部 担当：羽田

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

電話 078-435-2314 FAX 078-435-2546

Email: kouhou@adm.konan-u.ac.jp

プレスリリース配信先：兵庫県教育委員会記者クラブ、神戸市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

以上

2017年12月20日

報道関係者各位

甲南大学

甲南大学リサーチフェスタ

—研究課題を探す、話す、磨く—
開催のお知らせ

文部科学省が推進する「高大接続改革」では、いわゆる学力の3要素を身につけるために、高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の三者の一体的改革について提言されています。そこで、甲南大学における高大接続に関する取組みとして、今年度より新たに「リサーチフェスタ—研究課題を探す、話す、磨く—」を下記のとおり実施します。

リサーチフェスタとは、高校生と大学生、大学院生がともにポスター発表形式で自分たちの「研究」や「活動」について発表する、甲南大学独自のイベントです。

当日は高校生が約250名、高校教員が約30名、大学生・大学院生が約120名集まり、様々な交流が生まれる場となります。（参加者人数は予定です。）

記

- 日時：2017年12月23日（土・祝日）12:30~17:30（12:00 受付開始）
※当日のスケジュールは裏面をご参照ください。
- 場所：甲南大学岡本キャンパス KONAN INFINITY COMMONS (iCommons)
- 参加者数(予定)：高校生 約250名 高校教員 約30名 大学生・大学院生 約120名
- 当該イベントの特長
 - ①文系・理系を問わず、自由なテーマでポスター形式の発表を行います<文理の出会いの場>。
 - ②他の参加者の発表を見学・聴講することで、発表のノウハウ（ポスターの作り方や話し方など）について学ぶことができます<気づきの場>。
 - ③普段は接点が少ない、専門が異なる大学生・大学院生、そして高校生が、発表やワークを通じて交流できます<交流の場>。
 - ④発表の内容は完成形である必要はありません。高校生は、疑問に感じていることを大学の先生に質問して、その場で解決することができます<成長の場>。
 - ⑤高校生には、文系・理系に関係なくさまざまな分野の研究に触れたり、研究のアイデアや手法などを学んだりすることで、日々取り組んでいる研究活動の発展につなげられることが期待されます。
 - ⑥高校の先生にとって、幅広い分野のテーマ設定から解析、まとめ方まで、日ごろの生徒指導の際に役立つヒントが見つかります。

その他、当該イベントの詳細はホームページをご参照ください。（<http://ch.konan-u.ac.jp/festa/index.html>）

《本プレスリリースに関するお問い合わせ先》

甲南大学学長室

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

電話 078-386-2862 FAX 078-435-2306

Email: o-president@adm.konan-u.ac.jp

本プレスリリース配信先：兵庫県教育委員会記者クラブ、神戸市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

「甲南大学リサーチフェスター研究課題を探す、話す、磨くー」タイムテーブル

時間帯	イベント	内容
12:00-12:30	受付	
12:30-12:50	ガイダンス	プログラムや配布物について説明する。
12:50-13:10	自由閲覧	発表会場内を巡り、聞きたいポスターを選んでおく。
13:10-13:30	前発表①	<p>【発表者】 前発表①～③のいずれか1つの時間帯で発表し（発表時間帯は指定されます）、他の2つの時間帯では、他者の発表を聞く。</p> <p>【聴講者】 前発表①～③のすべての時間帯で、他者の発表を聞く。</p> <p>【発表者・参加者】 発表を聞いて、気づきをワークシートにまとめる。</p>
13:30-13:50	前発表②	
13:50-14:10	前発表③	
14:10-14:30	ワーク 1	ワークシートをもとにワークを行う。
14:30-15:00	本発表①	<p>【発表者】 本発表①～③のいずれか1つの時間帯で発表し（発表時間帯は指定されます）、他の2つの時間帯では、他者の発表を聞く。</p> <p>【聴講者】 本発表①～③のすべての時間帯で、他者の発表を聞く。</p> <p>【発表者・聴講者】 前発表、本発表を通じて感じたさまざまな気づきをワークシートにまとめる。</p>
15:00-15:30	本発表②	
15:30-16:00	本発表③	
16:00-16:40	ワーク 2	参加者のみなさんのさまざまな「気づき」を全体で共有できるグループワークを行う。
16:40-17:30	表彰式 ・交流会	ポスター賞の表彰と交流会を行う。

知能情報学部における研究成果について ～大学生の3割が発話のしにくさを感じている～

＜本研究成果のポイント＞

知能情報学部の北村研究室が行った研究から、驚くべき事実が明らかとなりました。

医学的には異常が認められない人の中にも発話運動がうまくいかない感じを持つ人がいますが、このような人たちの存在は気付かれずにいました。

このたび北村研究室において、全国15大学、約2000名の大学生・大学院生を対象に発話のしにくさに関するアンケートを実施したところ、全体の31.0%が発話のしにくさを感じていることがわかりました。

さらに今回のアンケートからは発話のしにくさを感じている人は**女性よりも男性が10ポイント以上多く、高校時代に文系だった人よりも理系だった人が10ポイント以上多い**こともわかりました（理系男性の37.6%が発話のしにくさを感じています）。男女の差は脳の性差によるものと考えられますが、文系と理系の差については今後の研究が必要です。

また、このことが原因で対人コミュニケーションが苦手になっている人がいる可能性もあります。

本件については、今後幅広く理解がなされていくことが必要かと考えます。

なお、同研究室では発話訓練法に関する研究を行っており、割り箸をくわえた発話練習（割り箸エクササイズ）を5分間行うだけで劇的な効果が出ることを確認しています。

なお、本研究の成果は2018年1月20、21日に東京大学にて開催される音声/聴覚/音声コミュニケーション研究会にて発表する予定です。本研究はJSPS 科研費 JP16K13226 の助成を受けたものです。

以上、本研究につきまして取材をご検討いただけます場合は、以下までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

[研究内容について]

■甲南大学知能情報学部知能情報学科 北村達也（教授）

Email: t-kitamu@konan-u.ac.jp

[プレスリリースについて]

■甲南学園広報部 羽田

兵庫県神戸市東灘区岡本 8-9-1

電話 078-435-2314（直通） Email: kouhou@adm.konan-u.ac.jp